

『私たちは田んぼを大きくしています』



かさぎ ちく くかくせいり だい じ こうじ

笠木地区 区画整理第3次工事

 株式会社 吉田建設



みなさん知っていますか？

この工事の目的は？



田んぼを大きくして、回りの水路や道路を使いやすくキレイにします。

そうすると、大きな機械で作業ができ動きやすくなるので、田植えや稲刈りが早く終わります。

今は、農業をする人が減ってきているので少ない人でも働きやすい環境づくり【スマート農業】をするのが「ほ場の区画整理工事」の目的です。

『工事の進め方』

1. 現在の田んぼや水路の状態を調査します。

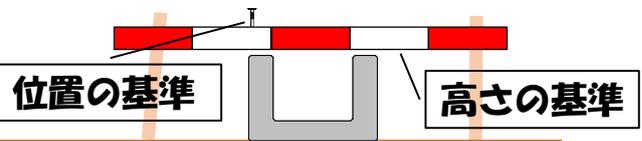
(田んぼを掘って土の種類を調べて作物ができるかどうかを確認します。)

2. レベル・トランシットという機械を使って工事現場の地形を測ります。

みんなも知ってるドローンも使います。

3. 作業ができるように丁張りという位置、高さの

基準を現地に示します。



4. バックホウという重機を使って水路を作ったり、道路を作ったりします。

5. フルドーザーという重機を使って土を平らで大きな田んぼを作ります。

バックホウ



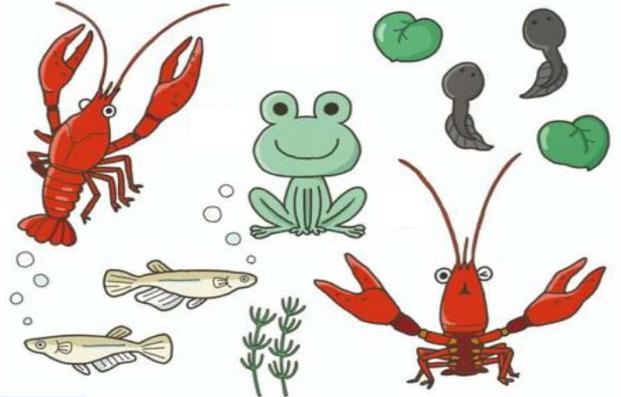
フルドーザー



『田んぼの役割』

 **田んぼ**は、**稲**を育てるだけでなく、**大雨**のときに**雨水**を**田んぼ**に一時的にためて、その後ゆっくりと**水路**や**川**に流すことでみんなの**住む街**などを洪水から防ぐ役割があります。【**田んぼダム**】

また、**田んぼ**の**水面**や**稲**から**水分**を発散することで空気を冷やしたり、メダカやカエル、ザリガニなどの様々な生き物のすみかにもなっています。



『田んぼと畑の二刀流（大谷選手？）』

 工事をすることで**水**はけが良くなり、**稲作**だけでなく、**麦**、**大豆**、**たまねぎ**、**えだまめ**、**キャベツ**なども栽培できるようになります。



『すごいぞ新潟』



- ・米の収穫量 全国1位
- ・田んぼの面積 全国2位
- ・大豆の収穫量 全国6位
- ・えだまめの収穫量 全国7位



※農林水産省HPより

工事をすると1枚の**田んぼ**の大きさは約1ヘクタールという大きさになります。縦が200m、横が50mの大きくて広い田んぼに生まれ変わります。

1ヘクタールの**田んぼ**からは約**5トン**の米がとれて、ご飯茶碗で約**7万**杯分になります。すごい量ですね！



『あとかき』



いろいろな事をせつめいさせてもらいました。

『工事の目的について』『工事のながれについて』

『田んぼの役割について』『新潟のすごいところについて』

みなさん分かってもらえましたか？



『川・海・山』や『魚・動物・植物』などの自然や

天気『はれ・くもり・あめ・ゆき』の時など

私たち現場の人たちはみなさんが**安全に**自然と**仲良く**暮らせるようにいろいろな場所でごんばって物を作り、守っています。

区画整理はその中の1つ、

みんなが食べる食料をつくる**田んぼ**とみなさんが

これからも仲良く暮らしていくための**工事**です。

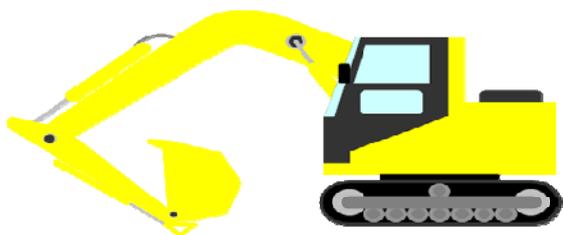
私たちは毎日ほ場の**区画整理工事**を行っています。

今日も明日もあさっても毎日、**安全に注意**してごんばります！



『はたらく重機(じゅうき)のしょうかい』

バックホウ

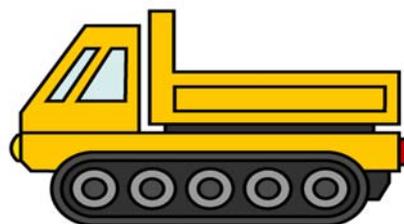


私たちの工事でよく使います。

主に**土砂**を掘る**重機(じゅうき)**です。

ちから持ちで重い土も持ち上げられます

クローラーダンプ



バックホウで掘った

土砂をのせて運ぶ車(くるま)です。

キャタピラーで道路がなくても運べます